

土砂災害をなくすために

北杜市立 武川小学校六年

本田かなえ

今、いろいろな所で土砂くずれや、川のはんらんなどがおこっている。土砂くずれや、川のはんらんこれらを防ぐためにはどうすればいいか、土砂災害防止法でもっと考えることはいないか、などたくさんの方で土砂災害をなくしたいと思いました。

二〇一六年四月廿日に、熊本県でしん度六の地震がおきました。地震のえいきょうで、かけくずれがおきたり、家がこわされたりして多くの死者がでました。私は、その時テレビ

で、熊本県の地震を見てみると、家がたおれたいりして、かけくずれが熊本県のいろいろな場所でおきていました。家や、木などの多くがたおれていたり、まじました。熊本県のぜんたいは、ほとんど家がたおれているじょうたいでした。熊本県にはたくさん木があるので、地震がおきると木がほとんどたおれていました。私が熊本県でおきた地震をテレビで見ると一番印象に残った所は、熊本県の多くの家がくずれていた所です。

熊本県で、おきた地震をみた時私は、あらた  
めて地震のこわさなどを感じました。熊本県  
でおきた土砂災害などのようにしたらおきな  
いか、熊本県では、地震のおきた回数が約三  
回くらいあり、多くの人が命を失ってしま  
す。地震で物のがおちたり、木がたおれたり  
して、熊本県の人はいへんだと思います。  
地震がおきる回数が多ければ多いほど、土砂  
災害がたくさんあるのでとてき危けんだと思  
います。家や、木がたおれて人がしたけきに

な、て命をおとす人もいます。土砂災害を防  
ぐために、もっと良い方法などを考えて、熊本  
県を少しで、き、きとどおりにきとして土砂災  
害を防いでいてほしいです。私が、住んで  
いる北杜市に昔、川のはんらんがおきたそう  
です。高さ、三メートルくらいの波が家に流  
れてきて、多くの家が流されました。山梨県  
は熊本県と違って、まわりに森があるので  
川のはんらんがおきた時には、とてき危けん  
だと思います。家に木のの水がくる時の波が

とても速く、いきおいがあり、家が流され  
るほど強い波だったと思います。私は、その  
時に、生まれていなかっただけの時の様子  
はあまりしりませんが、川のはんらんがおき  
た時の写真などを見てみると、水が川に流さ  
れていたり、多くの物が川に流されている  
様子でした。この地いきに住んでいる人のほ  
とんどが川に流されていきます。川のはんらん  
がおきないようになるとすれば土砂災  
害はおきないか、川のはんらんを防ぐ方法を

考えていきたいと思います。さいきんでは、台風の  
えいきょうで土砂災害がおきています。九州  
の方に、台風がきてがけくずれや、土砂くず  
れがおきています。とくに、さいきんは台風  
がくるので土砂災害がおきるきけんがありま  
す。私は、土砂災害が急におきたりすること  
をたいけんしたことはありませんが、テレビ  
で土砂災害のニュースを見ると土砂くずれが  
急にきたり、家がくずれていたりする所を見  
ていると土砂災害のこわさを感じ、かんじます。

私は、どうして土砂災害がおきるのか。土砂災害がおきる理由について調べてみました。土砂災害がおきる原因には、三つの原因があるそうです。一つ目は、日本にはたくさん山があること。二つ目は、山が毛と毛とくま木やすくなっていること。三つ目は、川の流木が急で曲がりたりする川が多いことから、土砂災害がおきる原因になります。熊本県でおきた土砂災害は、一つ目と二つ目の原因で、かけくま木などがおきたと思います。また、

山梨県の土砂災害は三つ目の原因で川の付らんがおきたと思います。この三つの原因をどうたいおうしていけば良いか、と自分ができることを見つけて土砂くま木、川のはらんを防ぎたいです。これから、土砂災害があると思います。少しでも、土砂災害を防いでいきたいです。自分にできることを見つけて、土砂くま木、川のはんらと防いでいって、土砂災害のない町にしていきたいです。